

(一社) 日本原子力学会 標準委員会 システム安全専門部会  
第 54 回 PLM 分科会 (P14SC) 議事録

1. 日 時 2019 年 10 月 25 日 (金) 13:30~16:00
2. 場 所 (一社) 原子力安全推進協会 D 会議室
3. 出席者 (敬称略)  
(出席委員) 鈴木 (主査), 渡邊 (副主査), 中川 (幹事), 新井, 矢野, 加藤, 重久,  
辻, 伊藤, 門間, 松藤, 中川, 吉成, 下家, 遊佐, 一森 (16 名)  
(欠席委員) 大木, 橋高, 上山, 望月 (4 名)  
(常時参加者) 野中, 赤間 (持丸代理), 長谷川, 村田 (上野代理), 伊藤  
(傍聴者) 榎崎

4. 配布資料

- |               |                         |
|---------------|-------------------------|
| P14SC54-1     | 第53回PLM分科会議事録案          |
| P14SC54-2     | 人事について                  |
| P14SC54-3-1-1 | PLM実施基準本格改定の検討状況        |
| P14SC54-3-1-2 | PLM実施基準本格改定方針整理表        |
| P14SC54-3-1-3 | PLM実施基準本格改定のスケジュール      |
| P14SC54-3-1-4 | PLM実施基準本格改定概要の標準委員会意見対応 |
| P14SC54-3-2   | PLM実施基準本格改定課題整理表 (規定内容) |
| P14SC54-3-3   | PLM実施基準本格改定の検討結果 (附属書C) |
| P14SC54-3-4   | PLM実施基準本格改定の検討状況 (附属書E) |
| P14SC54-3-5   | PLM実施基準本格改定の検討状況 (附属書A) |
| P14SC54-3-6   | PLM実施基準本格改定の中間報告 (案)    |
| P14SC54-3-7   | PLM実施基準本格改定案            |

説明資料

- |                |                                 |
|----------------|---------------------------------|
| P14SC54-説明-1-1 | 日本原子力学会標準委員会倫理教育に関する資料          |
| P14SC54-説明-1-2 | 2019 年度標準委員会倫理教育「適時見直し」の重要性について |

5. 議事

会議に先立ち、出席委員は 16 名で定足数を満足している旨確認した。

(1) 前回議事録確認 (P14SC-54-1)

第 53 回 PLM 分科会議事録 (案) が紹介され、承認された。

(2) 人事について (P14SC-54-2)

- ・ 常時参加登録の解除

東北電力の持丸氏の常時参加登録解除が報告された。

- ・ 常時参加登録

東北電力の赤間氏から常時参加登録の希望がある旨紹介があり、審議の結果常時参加が承認された。

(3) 原子力発電所の高経年化対策実施基準（追補4）について

高経年化対策実施基準（追補4）が経年劣化メカニズムまとめ表（追補2）の誤記（P14SC53-3-2）を反映したうえで、9月の標準委員会で制定され、現在発行準備段階である旨が報告された。

(4) PLM実施基準本格改定課題

・標準委員会の意見対応案（P14SC-54-3-1-4）

9月の標準委員会の概要説明にて、IAEAのテクニカルワーキングやピアレビュー、米国SLRなどに関して、反映すべき事項がないか確認が必要とのコメントを受け、「附属書G（参考）運転初期からの経年劣化管理の考え方」を新規作成して、コメントに対応した旨が報告された。システム安全専門部会（2019/11/6）に中間報告と合わせて標準委員会意見対応案を報告して、標準委員会（2019/12/11）への中間報告と意見対応案の報告を提案することが承認された。

・PLM実施基準本格改定の検討状況（P14SC-54-3-1-1~1-3, P14SC-54-3-2）

附属書Gに関して、附属書Gの内容や参考として追加する方針は問題ないことが確認されたが、何点かコメントがあったため、修正案をメールで委員に確認いただき、システム安全専門部会で中間報告することとなった。コメントは以下の通り。

- 附属書Gのタイトルが「4.2 運転初期からの経年劣化管理」を対象としているように取られるとの意見があり、以下のようにタイトル変更することとなった。

「運転初期からの経年劣化管理の考え方」→「経年劣化管理の考え方」

- G.7 旧式化管理、G.8 情報管理の記載内容に関して、PLM実施基準とSSG-48等との対応を分かりやすく記載したほうが良い旨の意見があり、記載内容を見直すこととなった。

・PLM実施基準本格改定の課題整理表及び附属書改定の検討状況

(P14SC-54-3-2~3-5)

経年劣化事象（附属書C,E）の改定案が各担当委員より説明された。また、経年劣化メカニズムまとめ表記載洗練案（PWR）が報告された。各自持ち帰り、コメント等あれば連絡いただくこととなった。

- 前回分科会から検討していた、「マルテンサイト系ステンレス鋼の熱時効」と「弁棒の遅れ破壊」の統合について、統合せずそのまま記載を残すこととなった。

- コンクリートの中性子照射による強度低下の新知見であるNRA技術報告を引用文献として追加することとなった。

・PLM実施基準本格改定の概要説明案（P14SC-54-3-6）

システム安全専門部会での中間報告案が報告された。本文に「新検査制度」に関する記載があるが解説図1では小さく「ROP適用」としか記載がなく、新検査制度と

保守管理の位置づけが分かりにくいとの意見があったため、解説図1の表現を修正することとなった。

・その他コメント

- 解説15は冷温停止時の例示のみの記載となっており、まず「考え方」を記載したうえで例示を記載すると分かりやすいとの指摘があり、記載内容を見直すこととなった。
- 解説表D4,5の「将来にわたって発生する可能性が小さい」という表現は、劣化が今後もずっと想定されないと誤解を招くとの指摘があり、「将来にわたって」を「60年時点」等の表現に変更することとなった。
- 解説表D.5の原子炉容器の「中性子照射脆化（上部棚吸収エネルギーの低下）」との違いを明確にするために、解説表D.3の原子炉容器の「中性子照射脆化」を、「中性子照射脆化（関連温度の上昇）」に変更することとなった。

6. その他

次回分科会は2020年1月29日（水）に原子力安全推進協会にて実施することとなった。標準委員会の倫理規程の講習会を実施した。 以 上